

いばらきネットモニター 茨城県警察の広報活動について 2024 結果

1 調査目的

茨城県警察の広報活動について、県民等の認知度、関心事項を調査・分析し、今後の効果的な広報活動に活用します。

また、警察相談専用電話（＃ 9 1 1 0）に関する認知度等を調査し、今後の周知活動や業務改善の参考とします。

2 結果の概要

- ・警察からの情報の入手方法については、「警察の広報誌、チラシ」が 25.7%で最も高く、「テレビ」が 24.2%と続く。
- ・警察相談専用電話（＃ 9 1 1 0）についても「テレビ」から知る方が多いが、認知度は低い。

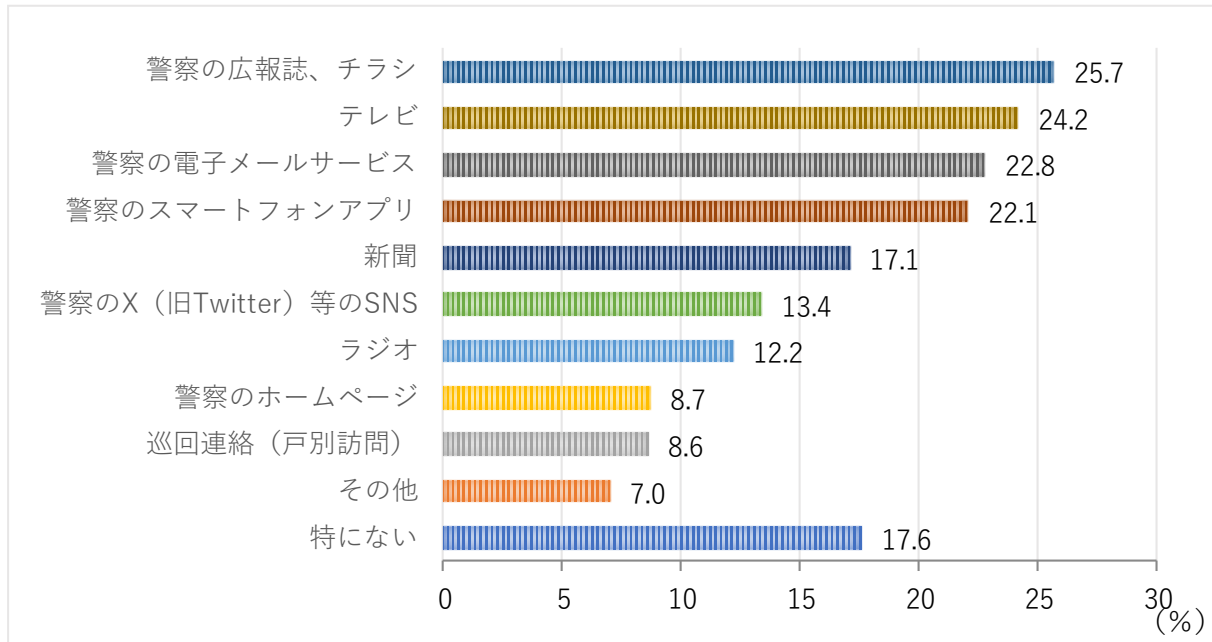
【問1】（警察からの情報の入手方法）

茨城県警察では様々なツールで防犯や交通安全などの情報を発信しています。

あなたは、お住まいの自治体の警察が広報する情報を、どのような方法で見聞きしていますか。

次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=1,196)



○「警察の広報誌、チラシ」が25.7%で最も高く、「テレビ」が24.2%と続く。

○「その他」（7.0%）として、次のような意見が挙げられた。（計84件）

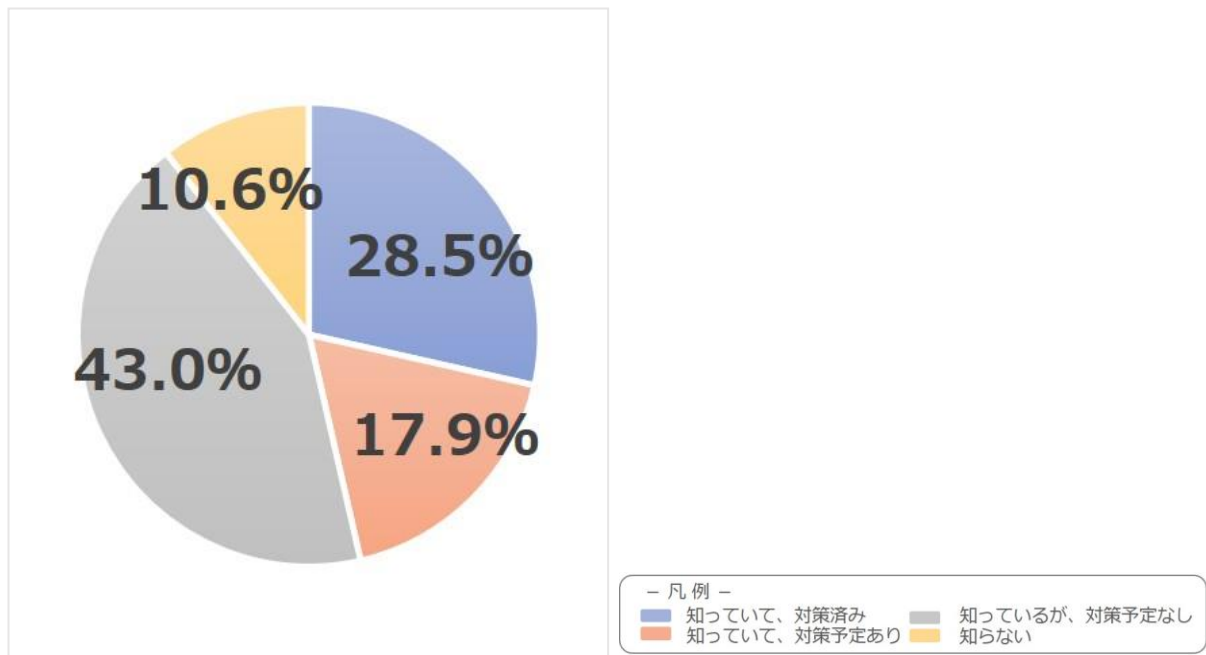
- ・市町村の広報誌
- ・回覧板
- ・学校のチラシ、アプリ

○上位のツールを中心に情報発信を推進する。

【問2】（住宅侵入窃盗防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「住宅侵入窃盗」の被害防止対策（補助錠、ガラス用防犯フィルムの利用など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,196)



○「知っている、対策をしている」（28.5%）、「知っている、対策をする予定である」（17.9%）、「知っているが、対策をする予定はない」（43.0%）を合わせた【知っている】は 89.4%であり、約 9 割の方が知っている。

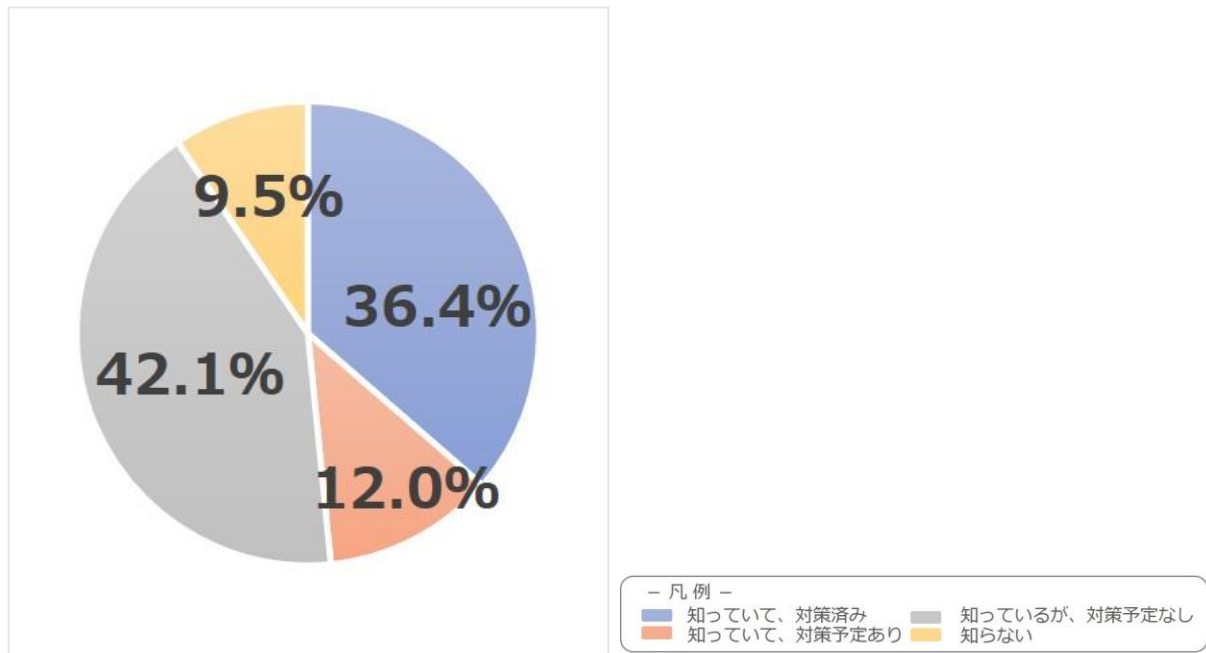
○一方で、「知っているが、対策をする予定はない」と回答した 43.0%の方は、対策を実施する予定がない。

○侵入の手口や、県内での発生状況などの情報を発信し、身近な問題としての意識を持たせる。

【問3】（自動車、自転車窃盗防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「自動車、自転車窃盗」の被害防止対策（ハンドルロック、タイヤロック、防犯登録など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,196)



○「知っている、対策をしている」（36.4%）、「知っている、対策をする予定である」（12.0%）、「知っているが、対策をする予定はない」（42.1%）を合わせた【知っている】は 90.5%であり、約9割の方が知っている。

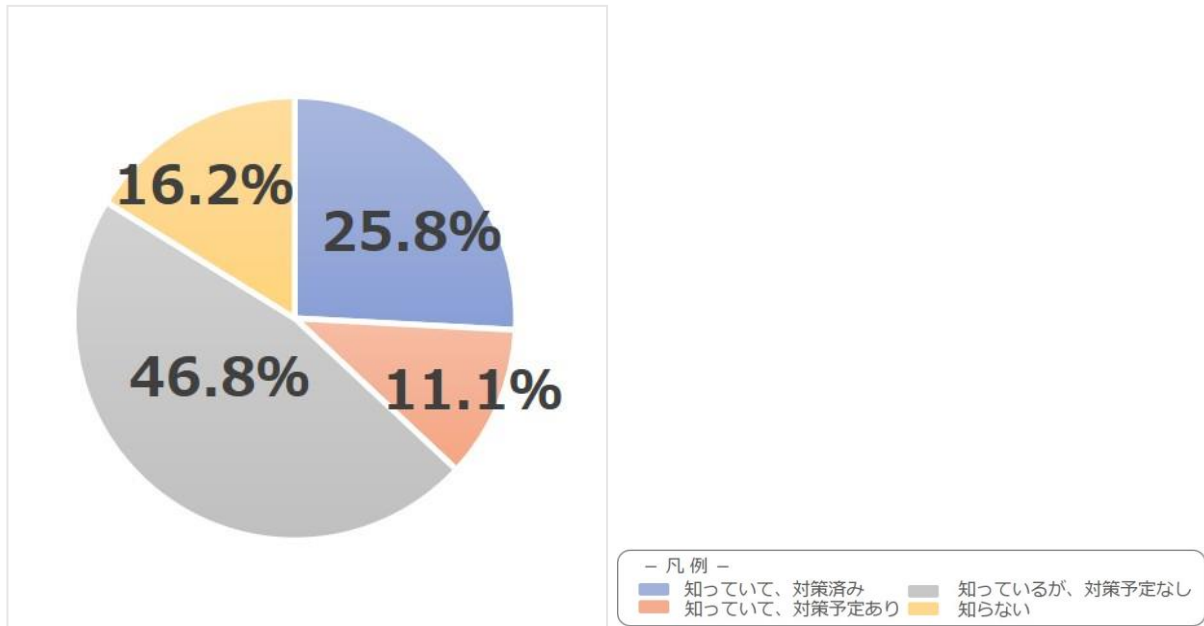
○一方で、「知っている、対策をする予定である」（12.0%）、「知っているが、対策をする予定はない」（42.1%）、「知らない」（9.5%）を合わせた【対策をしていない】は 63.6%であり、半数以上の方は対策を実施していない。

○被害に遭いやすい車種や、県内での発生状況などの情報を発信し、身近な問題としての意識を持たせる。

【問4】（金属窃盗防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「金属窃盗」の被害防止対策（防犯カメラ、センサーライトなど）を知っていますか。
また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,196)

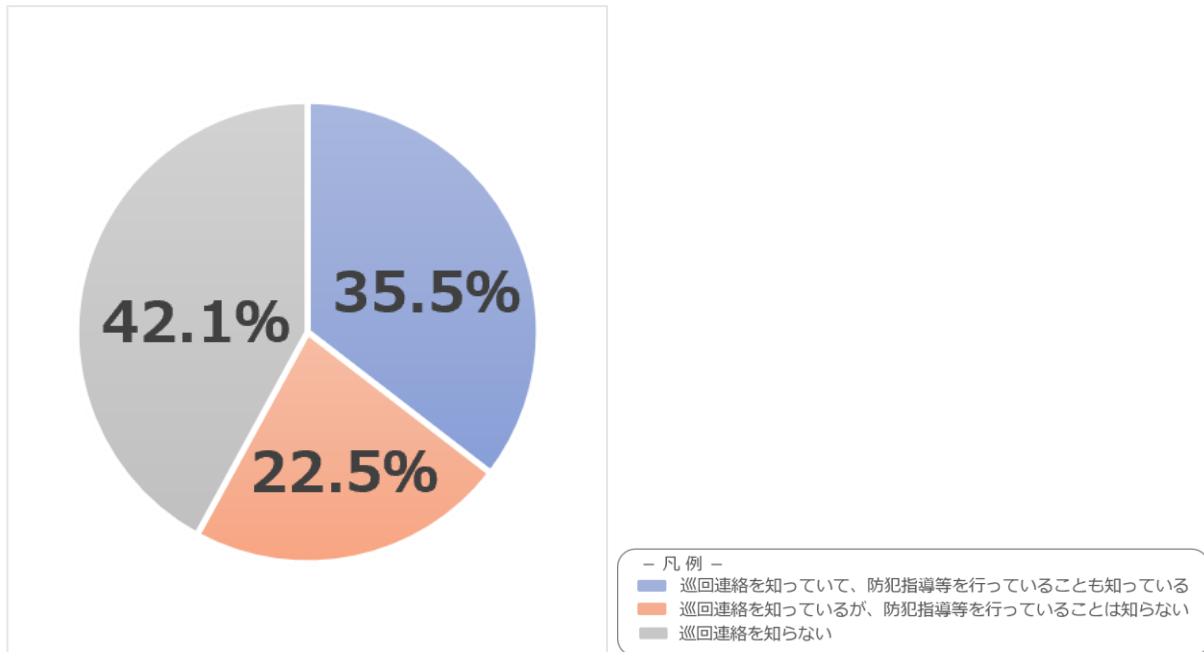


- 「知っている、対策をしている」（25.8%）、「知っている、対策をする予定である」（11.1%）、
「知っているが、対策をする予定はない」（46.8%）を合わせた【知っている】は83.8%であり、約8割の方が知っているが、他の設問よりやや少ない。
- 金属の買い取り価格高騰に伴って盗難被害が増加していることとともに、対策方法を発信する。

【問5】（警察官の巡回連絡による指導実施の認知度）

あなたは、警察官が「巡回連絡」において、防犯指導等を行っていることを知っていますか。
次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,196)



○「巡回連絡を知っていて、防犯指導等を行っていることも知っている」（35.5%）、「巡回連絡を知っているが、防犯指導等を行っていることは知らない」（22.5%）を合わせた【巡回連絡を知っている】は57.9%であった。

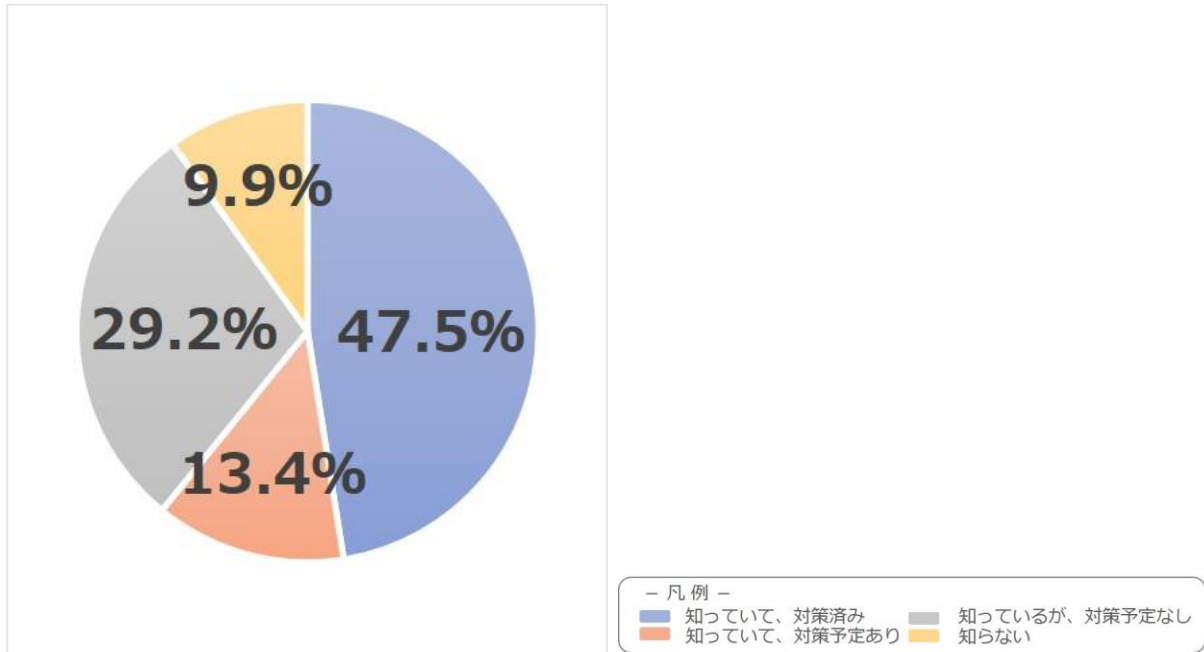
○巡回連絡は長年実施されてきた警察の重要な取り組みの一つであるが、認知度が低いことから実施を推進するとともに、情報発信を行う。

【問6】（ニセ電話詐欺防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「ニセ電話詐欺（※1）」の被害防止対策（在宅時留守番電話設定など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

※1 「ニセ電話詐欺」とは、身内や大手企業の社員、公的機関の職員になりすました犯人が、被害者に対して電話をかけるなどして、現金等をだまし取ろうとする特殊詐欺のことです。オレオレ詐欺などが該当します。

(n=1,196)



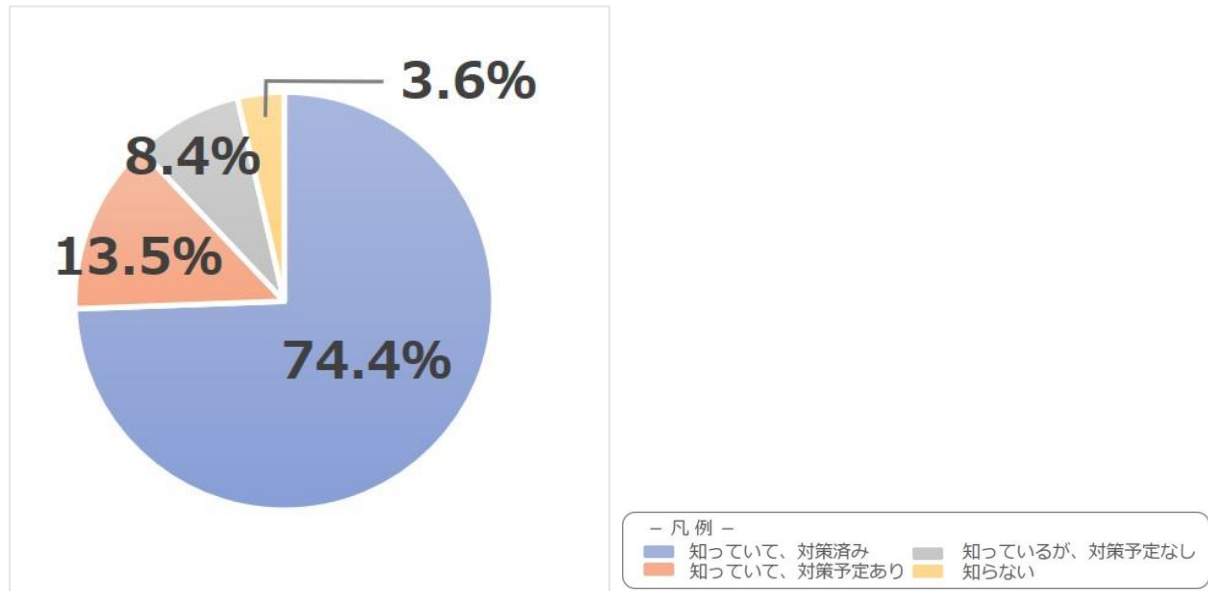
○「知っている、対策をしている」（47.5%）、「知っている、対策をする予定である」（13.4%）、「知っているが、対策をする予定はない」（29.2%）を合わせた【知っている】は90.1%であり、他の設問よりも知っている方、対策をしている方ともに多い。

○高額被害も発生していることから、継続的な対策の呼びかけを実施する。

【問 7】（交通事故防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「交通事故」の被害防止対策（横断歩道利用、反射材着用、ライト早め点灯、ハイビーム活用、自転車用ヘルメット着用など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,196)



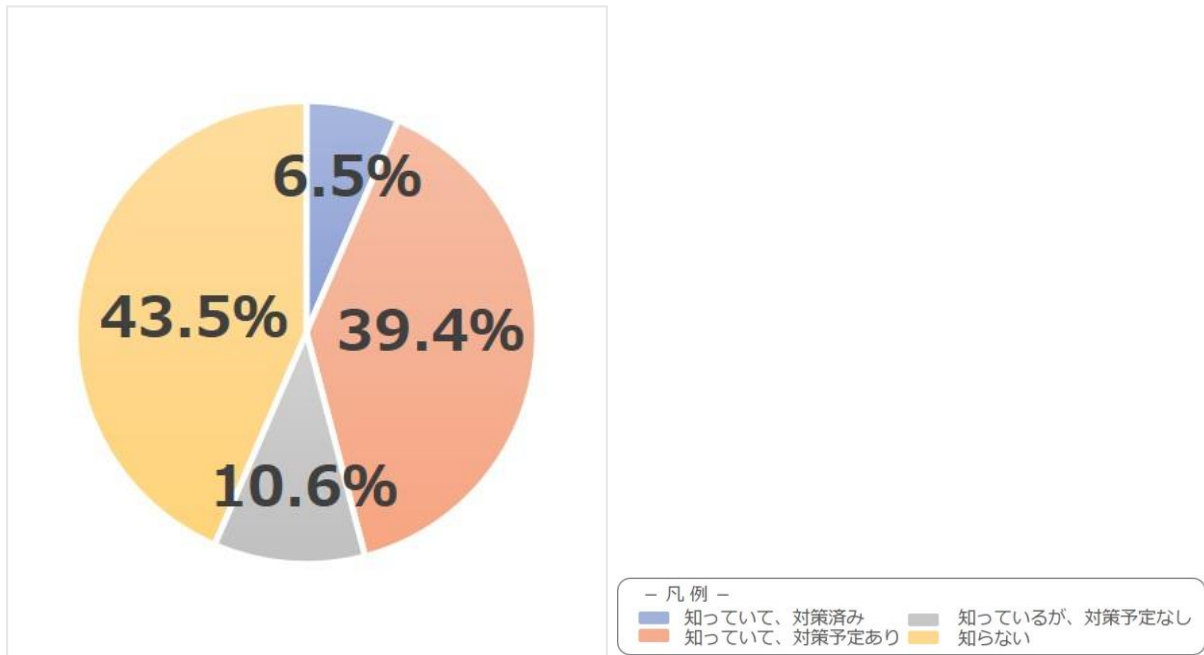
○「知っていて、対策をしている」（74.4%）、「知っていて、対策をする予定である」（13.5%）、「知っているが、対策をする予定はない」（8.4%）を合わせた【知っている】は 96.4%であり、広く認知されている。

○対策の必要性を、未対策の危険性とともに発信する。

【問 8】（来日外国人の不法就労・不法滞在防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「来日外国人の不法就労・不法滞在」の防止対策（雇用時等の在留カード確認、不審外国人情報の警察等への提供など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。
次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,196)



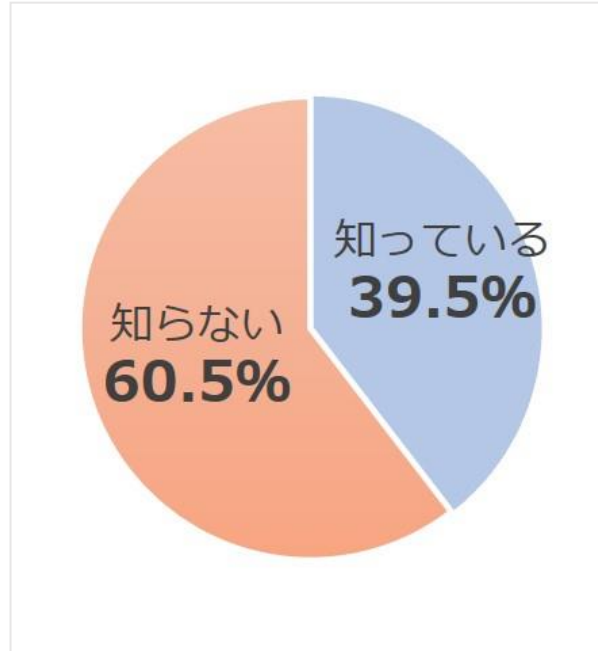
- 「知っていて、対策をしている」（6.5%）、「知っていて、機会があれば対策をする」（39.4%）、
「知っているが、機会があっても対策をするつもりはない」（10.6%）を合わせた【知っている】は56.5%であり、他の設問に比べて認知度が低い。
- 【知っている】方のうち、「知っているが、機会があっても対策をするつもりはない」と回答した方が他の設問に比べて少ないことから、周知が広がることで対策の実施につながることを期待出来る。
- 「来日外国人の不法就労・不法滞在」の現状や他の犯罪行為への繋がりやすさ等の情報発信を推進する。

【問 9】（警察相談専用電話「# 9 1 1 0」の認知度）

あなたは、警察相談専用電話「# 9 1 1 0」（※ 2）を知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

※ 2 警察相談専用電話「# 9 1 1 0」とは、全国どこにいても発信地域の警察本部相談窓口へダイレクトに繋がり、お困りごとなどを警察に相談することができる電話番号です。

(n=1,196)



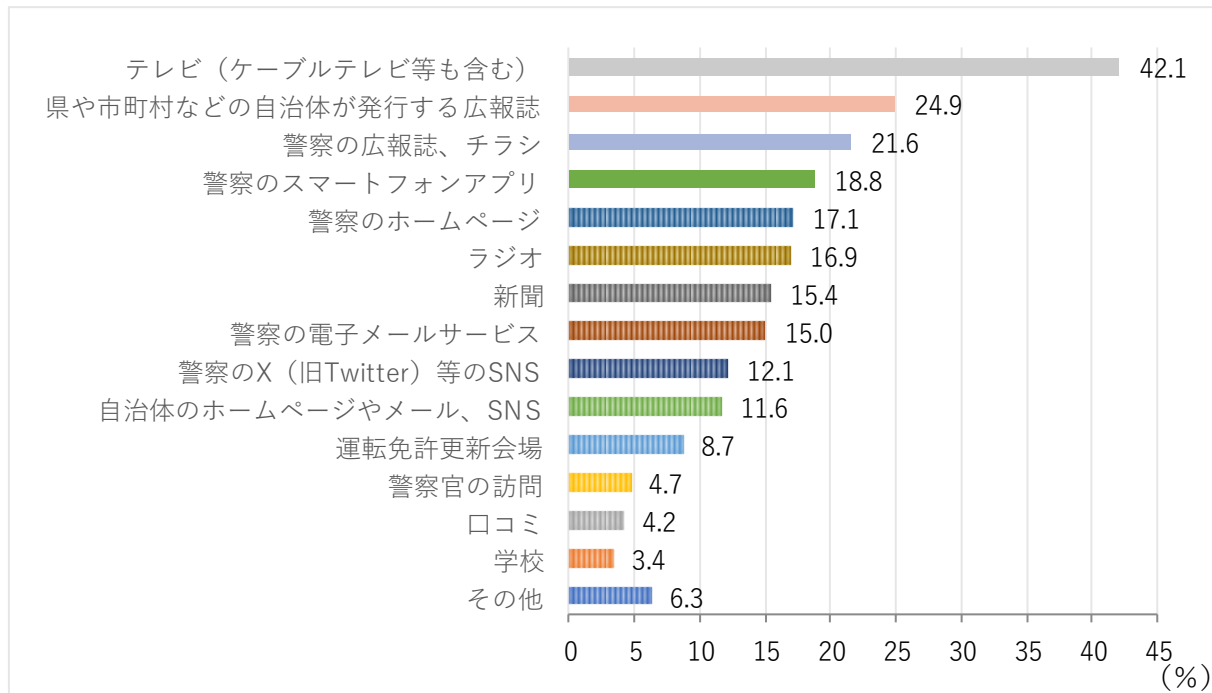
- 「知っている」は 39.5%であり、認知度が約 4 割と他の設問に比べて低い。
- 各種広報媒体を活用し、周知活動を行う。

【問 10】（警察相談専用電話「＃ 9 1 1 0」を知ったきっかけ）

（問 9 で「知っている」を選出した方へ）

あなたが、警察相談専用電話「＃ 9 1 1 0」を知ったきっかけは何ですか。次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

（n=473）



○「テレビ」が42.1%で最も高く、「県や市区町村などの自治体が発行する広報誌」が24.9%と続く。

○「その他」（6.3%）として、次のような意見が挙げられた。（計 30 件）

- ・インターネット検索
- ・ポスター
- ・イベント

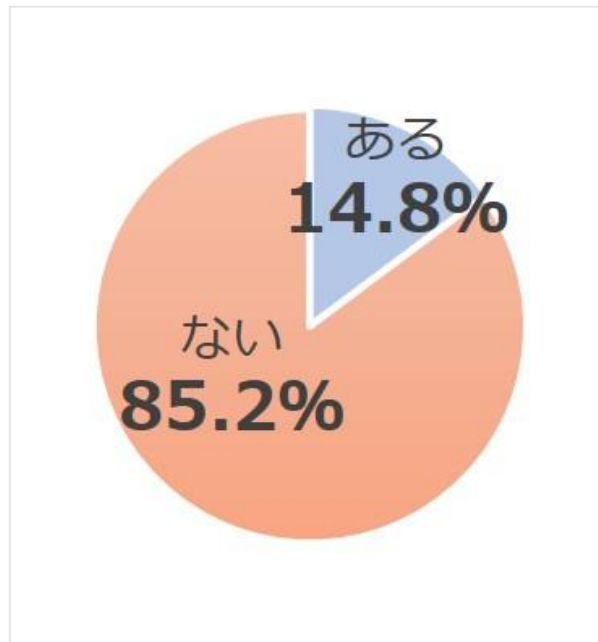
○広報誌を目にしない層への周知のため、他のツールでの情報発信を推進する。

【問 11】（警察相談専用電話「＃ 9 1 1 0」の利用経験）

（問 9 で「知っている」を選択した方へ）

あなたは、警察相談専用電話「＃ 9 1 1 0」を利用したことがありますか。次の中から、あてはまるものを 1 つ選んでください。

（n=473）

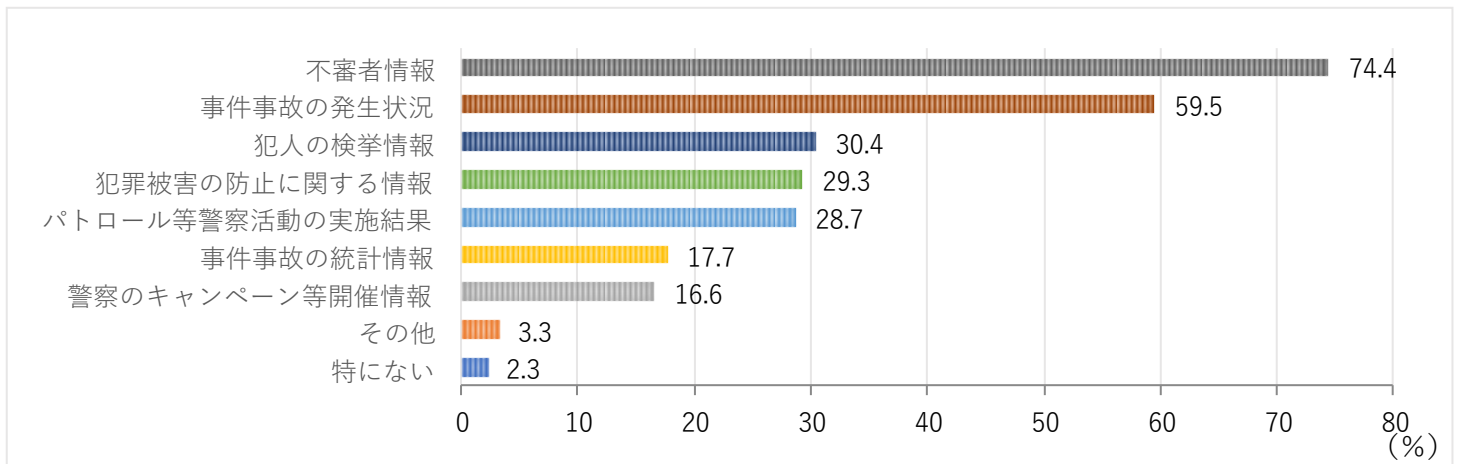


○問 9 において警察相談専用電話「＃ 9 1 1 0」を「知っている」と回答した方のうち、7 人に 1 人が利用経験がある。

【問 12】（提供してほしい情報）

あなたは、警察にどのような情報を提供してほしいと思いますか。次の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=1,196)



○「不審者情報」が74.4%で最も高く、「事件事故の発生状況」が59.5%と続き、不審者情報や事件事故発生情報などの、自身の生活範囲での情報に関心が高い。

○「その他」（3.3%）として、次のような意見が挙げられた。（計 39 件）

- ・ 犯罪の手口
- ・ 警察活動の効果検証結果
- ・ 警察の対応可能、対応不可能案件

○本結果を踏まえ、タイムリー且つ、こまめな情報発信に努める。

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・ 警察からの情報の入手方法として回答が多かった、情報が届きやすいツールでの情報発信を中心に、需要の高い「不審者情報」や「事件事故の発生状況」などの身近な情報について、高頻度での発信を推進する。
- ・ 本結果について、組織全体で情報を共有し、全体的な情報発信活動の効果向上を図る。
- ・ 警察相談専用電話「＃ 9 1 1 0」の周知拡大により、県民の生活に対する安心感の醸成を目指す。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調 査 時 期：2025 年 1 月 14 日 ～ 2025 年 1 月 27 日

調 査 方 法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モ ニ タ ー 数：1,600 名

回 収 率：74.8%（回収数 1,196 名）

回答者の属性：以下の通り

		人数（人）	割合（％）
全体（n）		1,196	100.0
地域別	県北	101	8.4
	県央	383	32.0
	鹿行	59	4.9
	県南	372	31.1
	県西	84	7.0
	県外	197	16.5
性別	男性	532	44.5
	女性	664	55.5
年齢別	16～19 歳	14	1.2
	20～29 歳	54	4.5
	30～39 歳	182	15.2
	40～49 歳	305	25.5
	50～59 歳	317	26.5
	60～69 歳	208	17.4
	70 歳以上	116	9.7
職業別	自営業	96	8.0
	会社員	457	38.2
	団体職員	61	5.1
	公務員	55	4.6
	主婦・主夫	236	19.7
	学生	31	2.6
	無職	123	10.3
	その他	137	11.5

(2) 担当課

茨城県警察本部警務部県民安心センター広報企画係

電話：029-301-0110（代表） E-mail：keisomu1@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第 2 位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。